

講師紹介

多田 千尋 (ただ ちひろ)

高齢者アクティビティ開発センター代表
芸術教育研究所所長
東京おもちゃ美術館館長
日本福祉文化学会理事
お茶の水女子大学講師 早稲田大学講師



要介護高齢者・障がい者を対象とするアクティビティ・ケアに関する人材養成、書籍の執筆、遊びや遊具を活用した介護予防の実践研究などを通して、世代間交流の研究と実践に取り組む。

また、東京おもちゃ美術館の10万人の入館者を集める経営手法が評価され、経済専門誌から「日本の社会起業家30人」の一人に選ばれる。

著書：「遊びが育てる世代間交流」（黎明書房）、「ボケないレッスン」（晶文社出版）など多数。

受講生の声

◆実技が始めると会場が笑い声で一杯になり、これから介護を続けていく上で、一番大切なものが見つかったような気がした。

沖縄県 デイサービスセンター勤務 介護職員 女性

◆機能面や心身状態を優先的に考え、同じアクティビティの繰り返しだったが、今後は、患者さんと一緒に楽しめるアクティビティを実践したい。

京都府 病院勤務 作業療法士 女性

◆認知症の方においては、薬ではなく、関わり方が重要だと感じた。これからは、アクティビティができる看護師を多く育てていきたい。

京都府 病院勤務 看護師 女性

要介護高齢者・障害者の生活の質を高める専門家養成

3つの
ステップ

要介護者が「生活の質」、「生命の質」を高め、生き活きとした生活を送るためには、生命の維持に必要な基本的ニーズの充足とともに、遊びや芸術などの文化的な活動を通じた「心の栄養補給」が必要です。当センターでは、アクティビティ・ケアを学ぶため、3つのステップの講座を開催しています。

初級講座

アクティビティ
インストラクター

中級講座

アクティビティ
ディレクター

継続学習&情報交換

アクティビティ・ケア実践
フォーラム

日程：2016年3月26～27日 会場：立教大学

2016年2月11日（木）セミナー参加について 締め切り：2月1日（月）

【申込方法】 高齢者アクティビティ開発センターホームページ上の「参加申込フォーム」からお申し込みください。
(アドレス：<http://www.aptycare.com/instructor.html>)

受講料については、下記口座へご入金をお願い致します。入金確認でき次第、お申し込み完了となり、開催1週間前を目途に、事務局より詳細な参加案内をお送りいたします。

〈郵便振替〉郵便局備え付けの青色の払込取扱票に必要事項を記入して受講料をご送金ください。
番 号：00110-8-82521 加入者名：芸術教育研究所
通 信 欄：お申込内容 セミナー名・受講日

【FAX・郵送での申込先】(株)ノーザンライツ・コーポレーション 担当：浅野

尚、パソコンをご利用にならない場合は、ファックスでのお申し込みをお願い致します。

住 所 〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町 70 番地 京都テルサフィットネスクラブ内
F A X 075-692-3466 ※FAXでお申し込みの場合は、送信後、確認のお電話をいただければ幸いです。

(フリガナ) 氏 名		住 所 〒	
ご連絡先 (該当に○) 自 宅・所属先		電話番号	
		FAX 番号	
職 種等 (該当に○) 1. 介護福祉士 2. 作業療法士 3. 理学療法士 4. 言語聴覚士 5. 管理栄養士 6. 保育士 7. 看護師 8. 精神保健福祉士 9. 社会福祉士 10. ケアマネジャー 11. ホームヘルパー 12. 施設長 13. 生活相談員 14. 学生 15. ボランティア 16. その他()		業 種 (該当に○) 1. 特別養護老人ホーム 2. 有料老人ホーム 3. 訪問介護 4. グループホーム 5. 介護老人保健施設 6. ショートステイ 7. デイサービスセンター 8. デイケアセンター 9. 病院 10. 障がい者施設 11. 学校 12. その他()	
日本作業療法士協会基礎ポイント申請希望 (該当に○) あり・なし (作業療法士の方該当：1日1ポイント)			

※本申込書をもって取得した参加者の個人情報は、研修会の運営にのみ利用するものとし、参加者名簿に氏名、所属事業所名を掲載いたします。